

第 2 回国際放射線神経生物学学会大会

日 時： 平成 23 年 12 月 3 日（土） 午前 9 時～午後 5 時 40 分

場 所： 群馬大学・昭和地区 刀城会館
（〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22）

大会長： 石崎 泰樹（群馬大学大学院医学系研究科分子細胞生物学）

<大会事務局>

群馬大学大学院医学系研究科分子細胞生物学（担当 倉知）

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3-39-22

TEL (027) 220-7950 FAX (027) 220-7955

E-mail: office@isrnb.org

学会 URL : <http://www.isrnb.org>

ご挨拶

頭部の放射線暴露の神経機能への影響に対して問題意識を持つ放射線医療従事者と、放射線の作用を応用して神経回路を研究している神経科学者が参画し、血管内皮細胞・グリア細胞・神経前駆細胞へのダメージによる機能障害のみならず、シナプス機能そのものにもたらす放射線作用の解明をも目指す放射線神経生物学という新たな研究領域の創出を目指し、本年1月に国際放射線神経生物学学会が組織されました。

その直後の3月11日に東日本大震災に見舞われ、福島第1原発事故により、大量の放射性物質が外部に飛散しました。事故がいつ収束するか未だ不確定であり、外部に漏出した放射性物質が我々の健康にどのような影響を与えるのか、多くの国民が不安に感じている状況です。このようなときこそ、放射線が健康に与える影響を客観的に評価する指標となる基礎的なデータを集めることが重要であると思います。今大会において、放射線神経生物学の最前線で活躍する研究者が一同に介して、最新の成果を発表し、実りある討論を行うことを期待しております。ふるってご参加ください。

第2回国際放射線神経生物学学会大会長

石崎 泰樹（群馬大学大学院医学系研究科分子細胞生物学）

Dear Colleagues,

The International Society for Radiation Neurobiology (ISRN) wishes to invite you to Maebashi, the capital of Gunma Prefecture, Japan, to participate in its Second Annual Meeting, which will be held on 3 December 2011.

On 11 March this year, we experienced the Tohoku earthquake and Tsunami. The Fukushima Daiichi nuclear disaster followed, and we still don't know when it will be overcome or to what extent it will affect our health and life. At the meeting, recent advances in the forefront of radiation neurobiology will be presented, which, we hope, will help promote understanding of the effect of radiation on brain development and function.

Maebashi is located at the feet of Mts. Akagi and Haruna, and the famous hot spas of Kusatsu and Ikaho are in the neighborhood.

We are looking forward to welcoming you to the meeting and having fruitful discussions together.

Yasuki Ishizaki, Meeting President

大会実行委員会

大会長（実行委員長）

石崎 泰樹

群馬大学分子細胞生物学 教授

実行委員

白尾 智明

群馬大学神経薬理学 教授

中野 隆史

群馬大学腫瘍放射線学 教授

平井 宏和

群馬大学神経生理学 教授

鈴木 義行

群馬大学腫瘍放射線学 准教授

児島 伸彦

群馬大学神経薬理学 准教授

中村 和裕

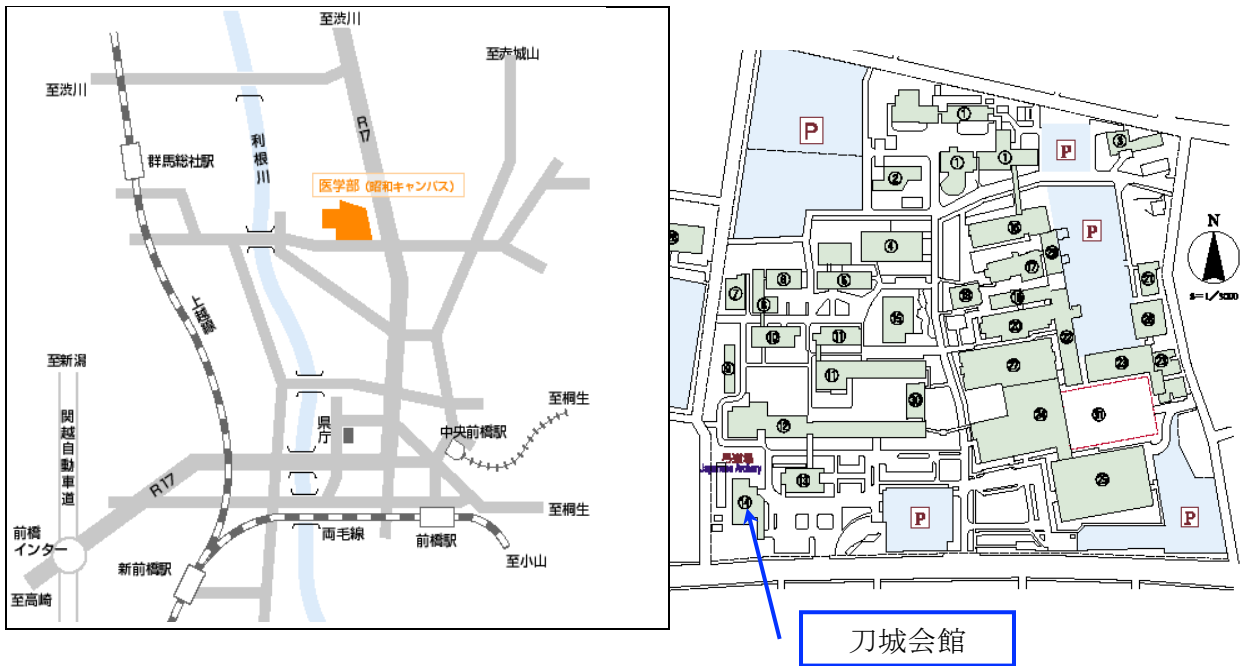
群馬大学神経生理学 准教授

井上 洋

関東脳神経外科病院 サイバーナイフセンター センター長

会場のご案内

群馬大学 昭和地区 刀城会館 案内図



公共交通

前橋駅よりバスで約 15 分（「群大病院入り口」にて下車）

前橋駅、新前橋駅、群馬総社駅よりタクシーで 10～20 分（1500～2500 円程度）

プログラム

9:00 ～ 9:05 開会の挨拶 石崎 泰樹 (群馬大学・分子細胞生物学)

9:05 ～ 10:00 特別講演

「NBS1を中心とした放射線損傷応答の最近の進歩」

小松 賢志 (京都大学・放射線生物研究センター)

座長：中野 隆史 (群馬大学・腫瘍放射線学)

10:00 ～ 12:00 シンポジウム1 「放射線暴露後神経機能障害のメカニズム」

座長：平井宏和 (群馬大学・神経生理学)

1. 「培養神経細胞および成体脳におけるX線照射の急性効果」

児島伸彦 (群馬大学・神経薬理学)

2. 「小児脳腫瘍における頭部放射線療法後の脳障害克服を目指して」

佐藤義朗 (名古屋大学医学部附属病院・周産母子センター)

3. 「放射線応答遺伝子ASPM(家族性小頭症原因遺伝子)とその新たな機能解明への挑戦」

藤森 亮 (放射線医学総合研究所)

4. 「ヒト神経様SK-N-SH細胞の国際宇宙ステーションに滞在における影響」

馬嶋秀行 (鹿児島大学・腫瘍学・宇宙環境医学)

12:00 ～ 12:10 「エソメプラゾールの最近の話題」

(第一三共(株))

12:10 ～ 13:00 ランチョンセミナー

「PET分子イメージング活用による創薬と先制医療の推進」

渡辺恭良 (理化学研究所・分子イメージング科学研究センター)

座長：白尾 智明 (群馬大学・神経薬理学)

13:00 ～ 15:30 ポスターセッション

15:30 ～ 17:30 シンポジウム2 「機能的疾患の放射線外科治療」

座長：鈴木義行 (群馬大学・腫瘍放射線学)

1. 「不随意運動に対するgamma thalamotomy」

平井達夫 (藤枝平成記念病院・平成ガンマユニットセンター)

2. 「側頭葉てんかんのガンマナイフ治療」

林 基弘 (東京女子医科大学病院・脳神経外科)

3. 「てんかん治療への脳磁図の応用」

木田義久 (小牧市民病院・ガンマナイフセンター)

4. 「難治性てんかんの脳梁離断gamma knife callosotomy」
岩井謙育（大阪市立総合医療センター・脳神経外科）
5. 「三叉神経痛の放射線外科治療」
井上 洋（関東脳神経外科病院）

17:30 ～ 17:40 閉会の挨拶 白尾 智明（群馬大学・神経薬理学）

18:00 ～ 情報交換会（会場：Cinema）

大会参加費

国際放射線神経生物学会（ISRN）会員：2千円（学生会員：無料）
非会員 一般：5千円、学生：2千円

<お知らせ>

* 国際放射線神経生物学会（ISRN）会員の方へ

大会当日の受付にて、平成24年度の年会費(3,000円)のお支払いが可能です。
ご利用ください。

* 非会員の方へ

大会当日の受付にて、新規入会手続き（年会費：3,000円、入会金：1,000円）
を受け付けております。

演題募集

演題募集期間

演題受付 2011年 10月 18日 (火)

演題締切 2011年 11月 11日 (金)

抄録・発表について

- 1) 一演題の共同発表者は10名以内を原則とします。
- 2) 演題は以下の3分野からひとつ選択して登録してください。
 1. 神経生物学
 2. 放射線(神経)生物学
 - 3-1. 放射線医学(画像診断)
 - 2. 放射線医学(治療)
- 3) 抄録本文は目的、方法、結果、結論等の内容を含む英文250語以内または日本語600字以内です。
- 4) 公募はポスター発表のみで、発表は日本語・英語のどちらかをお願いします。
なお、優れた発表については、口述発表をお願いする場合がございます。

演題応募方法

演題分野ならびに抄録原稿(Word形式)を事務局までメールで送信してください。

群馬大学大学院医学系研究科分子細胞生物学内

第2回国際放射線神経生物学会大会 事務局

E-mail : office@isrnb.org

演題受領通知および演題採否通知

- ・ 演題受領の有無は、事務局がメールを確認後、一両日中に返信いたします。
- ・ 一両日中に受領通知が返信されない場合は、申し訳ございませんが、再度、抄録をお送りください。
- ・ 演題の採否および口述、ポスター発表の振り分けはプログラム委員会の判定に基づいて行われ、11月下旬に本ホームページに掲載されるとともに、応募者にメールいたします。

演者の先生方へお知らせ

口演（シンポジウム）

- 1) 口演はパーソナルコンピューター（PC）による発表に限らせていただきます。
- 2) 会場に用意するPCの仕様は以下の通りです。
OS：WindowsXP
アプリケーション：Microsoft Office PowerPoint 2003
音声出力：不可
上記仕様で作成されたデータをUSB・等で保存しお持ちください。
なお、その他のPC環境をご希望の方は、自身のPCとコネクタを持参ください。
(正常に作動するかは確約いたしかねます。)
- 3) データは、参加受付にて受付いたします。
発表の30分前までにお持ちください。
- 4) 演台上には、モニター・マイク・ポインターを用意いたします。
発表時の操作は、御自身でお願いいたします。
- 5) 発表時間（討論時間も含む）は、シンポジウム1：25分、シンポジウム：20分です。
時間厳守でお願いいたします。

ポスター

- 1) ポスター展示場は午前8：30より展示可能となります。
午後12：30までに、御自身の演台番号のパネルに展示してください。
画鋏・テープは、こちらで用意いたします。
- 2) ポスター貼り付け用パネルの大きさ（最大寸法）は、横85cm、縦175cmです。
- 3) 発表時間は、午後1：00～3：30です。
この時間は、発表者は自身のポスターの前で参加者の質疑に応じてください。
- 4) ポスターの撤去は、閉会后、情報交換会開始まで（午後6：00）に行ってください。
撤去されないポスターについては、こちらで処分させていただきますので、予めご了承ください。

以上